

デンチャーケアにおける義歯安定剤と義歯洗浄剤について

内閣府発表の令和6年版高齢社会白書によると、高齢化率は29.1%に達しており、4人に1人以上が65歳以上であることから、今後、高齢者に対するオーラルケアの指導および情報提供が益々重要となります。残存歯のプラークコントロールはもとより、適切なデンチャープラークコントロールの指導、更には、高齢者の「嚥む」機能の維持・向上のための口腔管理も重要となります。デンチャー使用者においては、義歯安定剤が有効活用されていますが、義歯安定剤を未だ否定的にとらえている歯科医療従事者も少なくありません。その原因の1つとして、義歯安定剤には適合の良いデンチャーに使用される義歯安定剤と適合不良のデンチャーに使用される義歯安定剤があることが周知されていないことが考えられます。義歯安定剤はISO 10873の国際規格で、Glue type（粘着型）とLiner type（密着型）のまったく異なる2タイプが定義されており、デンチャーの適合状態によって使用するタイプが異なります。本セミナーでは、国内外で示されている最新の義歯安定剤に関するガイドラインと、義歯安定剤のタイプ別の性状、特徴、更に患者さんが有効活用するためにどのような点に注意し指導すべきかについて、義歯洗浄の重要性とともにご紹介いたします。

Haleon ジャパン株式会
エキスパートセールス
(担当者氏名) 鈴木栄里子